

NHKの連続テレビ小説「あまちゃん」のロケ地の一つとなった岩手県野田村は、東日本大震災の津波で大きな被害を受けた地域です。今ではほとんどの農地で営農も再開され、今年五月下旬、白いカモミールが四十坪の畑一面に咲き誇り、辺り一面に甘く爽やかな香りが漂いました。

二〇一二年、カミツレ研究所(長野県池田町)は復興の一助にと、岩手県東北広域振興局にカモミール栽培を提案。今年、野田村から初出荷を迎えることができました
 写真。

カモミールは和名がカミツレで、リラックス

東北復興日記

107



カミツレ研究所
代表取締役
北條裕子さん

カモミールの栽培促進

用や消炎、保湿など、さまざまな薬効が認められたハーブです。栽培が簡単で肥料代もわずか。収穫したカモミールは当社で全量買い取ります。さらに、満開の畑は美しく、観光にも役立ちます。

こうしたことから、私たちは新規栽培者を募り、三年夏から、生産者向けに栽培講習会を役場で定期的開催し、有機栽培への理解と参加を呼びかけました。今年は四軒によるカモミール生産組合が設立されました。「契約栽培なので、農家の安定的な収入増につながることを期待。関係機関と支援していきたい」(野田村役場)との声もいただき、さらに連携を深めたいと考えています。

いま、国産の安全な原料でつくられたオーガニックスキンケア製品への関心が高く、市場の成長が見込めます。カミツレ研究所は三十二年前から、カモミールのリラックス効果や肌への作用に注目。池田町で栽培を始め、入浴剤のほかスキンケア製品の開発、製造、販

売を一貫して行ってきました。米作から転作する生産者とも契約し、カモミール栽培による収益増をサポートしています。

獣害にも強いので、耕作放棄地や中山間地でカモミール栽培が促進されれば、収入確保とともに雇用増が期待できます。私たちは、カモミール栽培支援を通じ、東北復興や中山間地域を元気にするお手伝いをしたいと考えています。

この連載は、東京のNPO法人JKSKと、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。

